

令和3年(2021年)10月15日
山口県病虫害防除所

1 害虫名 ヨコバイ科の一種(和名なし)
(学名: *Singapora shinshana* (Matsumura))

2 発生作物名 モモ、スモモ、ウメ

3 特殊報の内容 新発生

4 発生経過

(1) 確認年月日: 令和3年8月12日

(2) 発生地域: 県内全域

(3) 確認の経緯

令和3年8月12日、山陽小野田市の家庭果樹のモモにおいて葉が白化する被害が認められ、被害葉の裏面にヨコバイの一種(図1)を確認した。その後宇部市、長門市、山口市でスモモ、ウメにおいても同様の被害およびヨコバイ類が確認された。

神戸植物防疫所に採集した成虫の同定を依頼したところ、山口県内では報告のないヨコバイ科の一種 *Singapora shinshana* (和名なし) であることが判明した。

(4) 他県での発生状況

本種の発生は、日本国内においては沖縄県で初めて確認されており、近年では令和元年以降、和歌山県、徳島県、埼玉県、京都府、大阪府、岡山県、群馬県、滋賀県、香川県、栃木県の11府県において、ウメ、モモ等において確認されている。

5 本虫の特徴

(1) 被害の状況

成虫、幼虫ともに葉を吸汁し、被害葉は白くカスリ状となる(図2)。食害が進行すると葉全体が白化し、落葉する(図3)。被害葉の裏面には幼虫の脱皮殻が多量に付着する(図4)。

(2) 形態

成虫の体長は3.0~3.5mm。体色は黄緑色、複眼は黒く、頭頂部に黒斑点を有する。

(3) 生態

詳しい生態は不明であるが、本種はウメ、モモ、スモモ、ナシ、リンゴ等のバラ科果樹の他、ポプラ等を加害することが報告されている。

6 防除対策

現在、本種に対して適用のある農薬はない。

本種の発生及び被害の早期発見に努め、被害が確認されたら速やかに寄生葉ごと除去し、園外に持ち出し適切に処分する。



図1 成虫（頭部に黒点あり）



図2 白化被害葉（ウメ）



図3 落葉した被害樹（ウメ：9月）



図4 葉裏の脱皮殻（ウメ）